平成2年8月1日　第466号

世帯と人口
（平成2年7月1日）
世帯　34,361　（＋144）
人口　104,974人（＋254）
男 53,900人　女 51,074人

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243－04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎（0462）31・2111

8月19日は
バイクの日

慢心、不注意が大敵

バイクで風を切る前に 自分の心の安全点検！

八月十九日はバイクの日――ちょっと耳慣れないかもしれませんが、この日は、急増する二輪車事故防止のための啓もう活動の一環として、国の交通対策本部が去年七月に制定したものです。〝身体で風を切るスピード感〟などに魅せられ、近年、若者を中心にバイク人口が増えていますが、スピード違反などの交通ルール無視による事故で、多くの人々が死亡しています。今回は、バイク事故について考えてみました。

バイクには運転技術とマナーが不可欠（厚木自動車学校で撮影）

思いもかけぬ事故

「今まで大した事故にあったことがないので、まさか、こんな事故を起こすとは思っていなかった」

――バイクで事故を起こした人が、真っ青な顔をしてよく言う言葉です。

バイクは手軽で便利な乗り物として、若者や主婦など多くの人たちに利用されていますが、バランスを崩すと転倒につながりやすく、走行中、他の車から見落とされやすいため、一瞬の油断が事故につながる場合が多いようです。

実際に去年、神奈川県内で発生した交通事故件数五万五十三件中、三八％にあたる一万九千一件がバイク事故でしたし、事故による死亡者五百六十五人中、三四％にあたる百九十二人がバイク事故によるもので、市内でも三人が死亡、二百十五人が重軽傷を負っています。

こうした数値から、バイクは危険な乗り物と思っている人も多いようですが、本当に危ないのは「自分だけは事故にあわない」といった根拠のない安心感を抱き、無謀な運転を繰り返す人間のほうなのです。

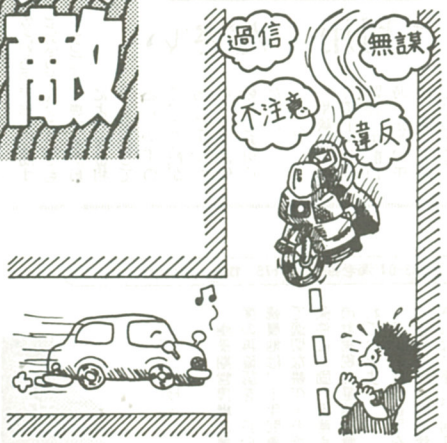
去年を例に、バイク事故の傾向をみてみますと、発生件数の六三％にあたる一万二千六件が他の車両との右折・左折時の衝突と出会いがしらの衝突で占められています。

事故原因では、走行中に周囲の安全確認を怠ったり、交差点での除行・停止を守らなかったなど、運転者の不注意や違反が目立ちました。

また、バイク事故死亡者数の七六％にあたる百四十五人が十代、二十代の男性であること、四〇％にあたる七十七人が最高速度違反（スピード違反）が原因で死亡したこと、などが大きな特徴として挙げられます。

以上のことからも、バイク事故を起こした人たちからは、◎自分の運転技術を過信して、交通ルールを無視した自分勝手な運転をしがちである◎外界に身をさらして走行しているため、事故を起こせば大けがや死に至ることを忘れがちであるといった共通した傾向が伺えます。

道路は、多くの人が譲り合って使用する公の施設です。いったん事故を起こせば、自分はかりか他の人たちの一生も台無しにしてしまうことを忘れず、交通ルールを守り、思いやりや譲り合いの心を持って運転してこそ、バイクの本当の楽しさが味わえるはずです。



こんな人が事故を起こす！

◎「自分は事故にはあわない」という誤った安心感をもっている
◎カッとなりやすく、よく競走にはしる
◎自分勝手で、気が変わりやすい
◎状況判断が甘く、危険な行動をよくとる
◎勘に頼った動作が多く、自信過剰ぎみ
◎動作に誤りが多く、不正確である
◎動作が速すぎる、遅すぎる

変わらない人間の〝性能〟

河原口　飯島　正一さん

「じかに風に触れられるし、自動車では見ることのできない風景に出会えるので、バイクは〝気分転換〟にはもってこいです」

と話す飯島正一さん（造園業、42歳）はバイク歴二十六年。もちろん無事故無違反。十六歳の時に五十ccから始め、現在は千ccのバイクを愛用中。この間、バイクの性能は目覚ましい進歩をとげたが、それを操る人間の〝性能〟は昔と変わることがない、と…。

「だからこそライダーは、無防備で外界に体をさらしていることを常に忘れず、周囲の状況を意識しながら運転しています」

バイクを通じて友人も増え、年に数回は気の合う仲間と自然を求めてのんびりツーリング。そんな熟練ライダーの飯島さんが、今一番怖いものは、自己中心で他車を気にせず走行したり、車の性能以上の速度で走ろうとする無謀ドライバーだそうです。

心のふれあいもとめて

8・15～9・30「福祉強調月間」キャンペーン

連帯の輪を広げよう！

「だれもが平等で　生きがいを持って生活できる海老名市」を目ざし、八月十五日から九月三十日まで「福祉強調月間」キャンペーンが展開されます。期間中は福祉関係の各種催しを実施。お年寄りも障害者も互いに交流し、連帯の輪を広げましょう。市民のみなさんのご協力をお願いします。

お気軽にご参加ください。

とき　8月26日(日)　午前10時から

ところ　市総合福祉会館

問い合わせは社会課（内461）または市社会福祉協議会（☎31・4122）。

福祉のつどい

ひとり暮らしのお年寄りや心身障害者、母子・父子家庭、生活保護家庭のみなさんとボランティアの方々に、演芸や模擬店各種コーナーで、楽しい一日を過ごしていただきます。

対象の方々には、民生委員を通じてご案内を差し上げます。

敬老のつどい

七十五歳以上のお年寄り（大正四年九月十五日以前に生まれた方）を招き、演芸を楽しんでいただきます。

対象の方には、民生委員を通じ、案内を差し上げます。

とき　9月17日(月)　午前10時（国分・大谷・国分寺台・浜田町・望地・勝瀬・上今泉・中心花）　午後2時（柏ケ谷・東柏ケ谷・中新田・さつき町・河原口・上郷・下今泉・中河内・中野・社家・今里・上河内・杉久保・本郷・門沢橋）

ところ　市文化会館

問い合わせは、高齢者福祉課（内461・462）。

昨年の敬老のつどいで…

長寿のお祝い

長年にわたって社会の発展に寄与されたお年寄りに、感謝の意をこめて、お祝いの金品を贈ります。

民生委員が九月上旬に対象の方のお宅に伺います。また九十歳以上の高齢者の方には、市長、助役ら市の幹部がお祝いの訪問をします。

対象の方　①80歳以上の方に敬老年金　②喜寿（77歳）、米寿（88歳）、白寿（99歳）―高齢上位の3人、結婚50年、60年の方々にそれぞれ記念品を贈ります。

問い合わせは高齢者福祉課（内461・462）へ。

黄色いハンカチ運動

障害者やお年寄りの方々が、健常者との心のふれあい、コミュニケーションを求め、黄色いハンカチと、MAY I HELP YOU！（手助けしましょう）の文字入りポロシャツを作ります。

問い合わせは、市社会福祉協議会（☎31・4122）へ。

心配する前に　年金相談　ご利用ください

国民年金、厚生年金、共済年金などの公的年金は、現在、すべて共通なものとして生まれ変わっています。このため、新しい年金制度はいっそう複雑となり、わかりにくい部分が少なくありません。

「国民年金と厚生年金の両方に加入しその支払いはどうなるのでしょうか」、「かつて、退職した時に脱退手当金を受けた分は、どうなるのでしょうか」など、気にかかることが多いもの。年金に関することならどんなことでもけっこうです。専門相談員による年金相談を開設しておりますので、ご心配がありましたら、まずお気軽にご利用ください。

◇

相談日　毎月第1・3火曜日、午前10時―正午、午後1時―3時（市民相談室）

なお毎月、広報15日発行号で相談日をお知らせします。

出展・出演者を募集　市民文化祭

11月3日・4日

市では、11月3日・4日に開催する「市民文化祭」の参加者を募集しています。みなさんの文化活動や自主的な創作など、日ごろの成果を発表してみませんか。

▽応募方法　社会教育課文化財係に必要事項を記入し、9月5日までに同課へ申し込んでください。

▽部門―展示部門―俳句・短歌・書道・美術・手工芸・菊花・盆栽・写真・陶芸・コレクション・華道など、出演部門―コーラス・バンド演奏・舞踊・郷土芸能など（市民音楽祭出演団体は除く）。

▽展示・出演期間　11月3日(土)・4日(日)の2日間。

発表は1人1点、作品には大きさなどの制限があります。出展方法など、詳細については、社会教育課文化財係（内665）まで。

2市合同身体障害者運動会

毎老名市と座間市の身体障害者(児)・介護するみなさんが参加します。

対象の方には、民生委員を通じて案内を差し上げます。

ときと場所　9月9日(日)午前9時半から

ところ　座間市立入谷小学校

問い合わせは福祉課（内461）。

愛護作品展

県央地区各施設の精神薄弱者が創作した絵画・彫刻などを展示します。

とき　9月6日(木)～9月10日(月)　午前10時～午後7時

ところ　ニチイ毎老名店3階

問い合わせは福祉課（内461）。

ご寄付ありがとう

◇社会福祉事業へ

▽三十万円＝穴見治子

▽五百二十四万八千円＝森下鎮美

情報は広報広聴課へ　市役所　〒243-04 海老名市勝瀬175　☎31・2111(代)

情報コーナー　市役所から

◉長期営農継続農地の制度の再確認を　長期営農継続農地は、十年間農地として適切な耕作・肥培管理を条件に、固定資産税及び都市計画税の軽減措置がとられています。

この制度の適用を受けている農地は、肥培管理が施されない場合、制度の適用を取り消しするばかりでなく、いままで軽減してきた固定資産税及び都市計画税さらにその間の延帯金を徴収することになります。

農地は生活環境の保全にも大きくかかわっています。もう一度、農地の肥培管理を確認しましょう。問い合わせは資産税課（内453）。

◉児童手当の現況届、至急提出を　児童手当及び特例給付を受けている方は、毎年六月に現況届を提出することになっています。まだ提出されていない方は、至急福祉課児童係へ提出してください。提出されないと、引き続いて児童手当を受けられなくなります。ご注意ください。

問い合わせは福祉課（内457）へ。

◉成人病予防セミナー開催　▽内容　高脂血症を予防しよう―高脂血症とはこんな病気（講師＝毎老名市医師会医師・栄養士・保健婦、生活指導（保健婦）▽日時　8月7日(火)、午後1時半―3時半▽会場　国分寺台児童館▽問い合わせ　予防保健課（内425―427）。

◉地域職業総合相談会　▽内容及び参加機関　求人・求職・各種援護相談―厚木公共職業安定所　労働条件、給与、労災問題など―厚木労働基準監督署　年金相談―厚木社会保険事務所　技能習得・能力開発など―神奈川県能力開発課　その他労働諸問題―厚木労働センター・厚木市・毎老名市・座間市・愛川町・清川村▽対象・どなたでも受け付けり日時　8月24日(金)、午前10時―午後4時▽場所　プロミティーあつぎビル・階大ホール（本厚木駅下車徒歩3分、☎21・7838）▽問い合わせ　厚木公共職業安定所（☎21・1671―）。

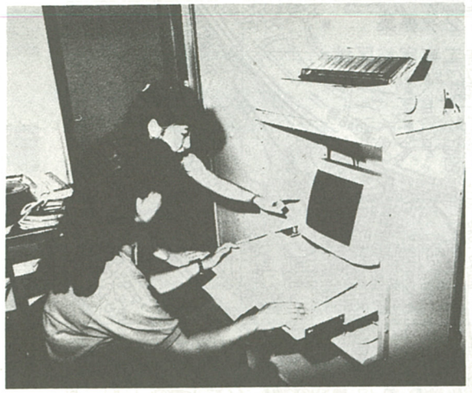
◉平成2年度後期職業技術校生募集　①県立相模原高等職業技術校―▽募集内容・人員　金属加工系溶接板金コース（30人）、ビジネス実務系経理事務コース（20人）　②平塚高等職業技術校―▽募集内容・人員　エクステリア系・エクステリア施工（20人）、設備工事系・住宅設備施工（20人）プラント施工（20人）、建設設計系・建設設計（40人）

①②とも▽応募資格　義務教育修了以上の学力のある方▽申し込み期間　9月3日(月)まで▽受け付け場所　高等職業技術校及び公共職業安定所▽選考日　9月10日(月)午前9時▽選考方法　筆記試験（国語・…3面上段へつづく

県央図書館と連携

サービスの幅広がる

オンライン端末機設置



図書館に設置されたオンライン端末機

市立図書館は、昭和六十年四月に新館を開館して以来五年を経過し、現在登録者数三万九、四九二人（市人口の三七・七％）、蔵書冊数一六万四、〇七九冊と、利用者、蔵書とも大幅に増えてきました。また、利用の形態も書棚にある本を借りていくだけでなく、読みたい本や探している本で、図書館にない本を予約したり、調査や研究のため、図書館に問い合わせるなど、活用方法が広がってきています。

このため図書館では、今年のタイトル、視聴覚資料一万四、〇〇〇点、郷土・行政図書資料二万点、古文書五、〇〇〇点や最新の出版情報などが入力されており、資料の検索、貸出予約、リクエスト及び、図書館相互の電子掲示板などの機能が利用できます。

新しい図書館サービスに、市民のみなさんの幅広いご利用をお待ちしています。

市長随想

「子供の日」や「敬老月間」といった週間や月間のテーマは有名で知っていられる方も多い様ですが、これ以外に年間を通すと二百以上あります。みじかなものでは、八月から九月にかけて「防災の日・防災週間」があります。

この様にいろいろ設定し催し物や広報などで国民の意識を更に深めていただくことを目的として決められたもので、これ以外に八月には「防災週間」を含めて八件の行事があります。

変わったものとして、「身元確認強調月間」というのがあります。これは、自殺や事故死、あるいは殺人事件の被害者などで身元が確認されていない〝無縁仏〟として葬られている不幸な人は、昭和五十年以降十五年間で約一万三千人いるそうです。八月が行方不明になる人が多いから設定されたのでしょうか。主催は警察庁で、テレビや新聞などを通じて沢山の人の力で捜そうという主旨です。

一面で取り上げた「バイクの日」も二輪車事故が増加しており、しかも八月に多いということ、八月十九日が「バイク」とゴロ合わせから去年、定められたものです。

近年の交通事故の増加は、第二の交通戦争と言われる様に極めて厳しい状況です。特に二輪車事故が増加しています。だれも起そうとして起す事故ではありません。「つい、うっかり」とか、何かのはずみ、またはちょっとした事故もあります。起ってしまってからでは大変です。特に二輪車は乗り物の中で、自転車の次に弱い乗り物です。全ての人の力で事故防止に心掛けたいものです。

毎老名市長　左藤　究

「バイクの日」を契機に事故防止

毎年八月十五日は「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」として、全国戦没者追悼式が行われます。これに合わせて、正午から一分間の黙とうをお願いします。

また、広島市では八月六日午前八時十五分、長崎市では八月九日午前十一時二分から、原爆死没者の慰霊と平和祈念のため、一分間の黙とうを捧げることにしています。

みなさんのご理解、ご賛同をお願いいたします。

戦没者を悼んで　15日「正午に黙とうを」

第3次総合計画　基本構想が可決

ご協力ありがとうございました

「毎老名市第三次総合計画」の基本構想が、このほど定例市議会で可決されました。

この第三次総合計画は、二十年後の将来都市像「ゆとりと活力あるまちえびな」の実現に向けて、基本方向を示した基本構想と、その基本方向に沿って行う施策の大綱を示した基本計画から構成されています。

この基本構想作成にあたり、市民アンケート、市民集会、毎老名の将来像を描いた絵画コンクールを行い、市民のみなさんのご意見などを参考にさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

計画の概要については、ダイジェスト版を作成し、各ご家庭に今秋以降配布する予定です。

企画課

座間キャンプで盆踊り大会開催

今年も第三十一回日米親善盆踊り大会が、八月十八日(土)、米軍座間キャンプで開催されます。

当日、会場では、盆踊りのほかに子供向けのゲーム、花火大会などの催し物も企画、飲食物の売店も多数、出店する予定です。みなさんのご来場をお待ちしています。

8月18日(土)、雨天の場合は19日(日)

▽開放時間　正午～午後10時

なお基地内は「車両乗り入れ禁止」となりますので、電車またはバスをご利用ください（最寄り駅―小田急線相武台前駅下車）。

問い合わせは、座間市役所渉外課（☎53・1111内216）。

キャンプ座間渉外部（☎51・2160）へ。

県立青少年会館　8月

（31・9787）

☆ふる里の自然とのふれあい教室　身近な自然を観察し、大きな発見をしよう。19日(日)午前9時～正午。小学3～6年生20人（保護者も参加可）。申し込み制（電話か直接）。

☆わたしたちのふる里を画く　夏休みに、わたしたちのふる里の風景をスケッチして、新しい発見をしませんか。25日(土)午前9時～午後3時。小学3～6年生20人。申し込み制（電話か直接）。

☆影絵劇講習会　影絵のトリックを中心に、人形づくりから上演まで。29日～9月13日までの毎週水・木曜日午後6時～9時。高校生以上20人。申し込み制（電話か直接）。

☆ふる里の自然を観察し、大きな発見をしよう。19日(日)午前9時～正午。小学3～6年生20人（保護者も参加可）。申し込み制（電話か直接）。

☆わたしたちのふる里を画く　夏休みに、わたしたちのふる里の風景をスケッチして、新しい発見をしませんか。25日(土)午前9時～午後3時。小学3～6年生20人。申し込み制（電話か直接）。

☆影絵劇講習会　影絵のトリックを中心に、人形づくりから上演まで。29日～9月13日までの毎週水・木曜日午後6時～9時。高校生以上20人。申し込み制（電話か直接）。

みんなの伝言板

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して……

広報広聴課

広報広聴係（内232）へまで）

◉さわやかバドミントンクラブ部員募集　▽初心者教室　練習日時　8月9日～10月18日毎週木曜日（全10回）午後1時～3時▽場所　市総合体育館▽費用　4千円（シャトル代込み）▽申し込み　当日体育館で、または鈴木（☎31・8919）＝午後5時～9時

◉ママさんソフトボールクイーンズ」会員募集　ソフトの好きな方、仲間に入りませんか。初心者歓迎▽練習日　第1・3土曜日、第2・4日曜日午後2時～4時▽場所　真鶴公園（大谷コミュニティセンター隣り）▽連絡先　山口（☎31・3723）宮田（☎31・3321）

◉神奈川県大学公開講座　北里大学教養部　経済的繁栄の中で、いかにして真にゆとりある充実した生活を送るべきか、いろいろな観点から考えてみようテーマ「今、豊かさとは―ものとこころのはざまで」▽日時　9月29日―12月15日までの土曜日（11月3・10日は除く）全10回、午後2時～4時半▽申し込み　往復ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、8月13日～9月8日の間に、北里大学教養部事務室　神奈川県大学公開講座係（〒228相模原市北里1―15―1☎0427・78・8316）

◉ちぎり絵同好会B会員募集　作る楽しさ、ふれあいの喜びをあなたもいっしょに味わってみませんか。初心者歓迎（教材あり）▽日時　月1回第2・金曜日午前10時～午後0時半▽会場　毎老名青少年会館▽講師　吉井秩子先生▽問い合わせ　小口（☎31・0425）または新保（☎32・8457）

◉第12回貴志園祭　▽日時　8月26日(日)午前10時～午後3時（雨天も実施）▽場所　精神薄弱者授産施設貴志園（綾瀬市吉岡223383）▽内容　アトラクション、模擬店、リサイクルバザー、ガレージセール▽問い合わせ　貴志園（☎0467・78・4178）へ。なお右記バザー品の募集、ガレージセールの場所提供を行っています。

新規住宅防音工事実施区域が拡大

対象地域は国分の一部

新規住宅防音工事実施区域が拡大されました。これに伴う申し込み手続きなどの書類を、国と防衛施設周辺整備協会が八月上旬ごろから各戸へ配布する予定です。

今回の新規工事の募集は、今年度の二次募集になります。対象となる地域は国分の一部（別図参照）で、昭和六十一年九月十日現在で所在する住宅が防音工事の対象になります。

新規住宅防音工事の室数は、一世帯一室または二室で、五人以上の場合は二室となります。

なお、昭和六十一年九月十日付「防衛施設庁告示第九号」により、住宅防音工事区域が指定されています。今回の新規住宅防音工事については、75WECPNL以上80WECPNL未満の区域に該当するため、第II工法で施工されます。

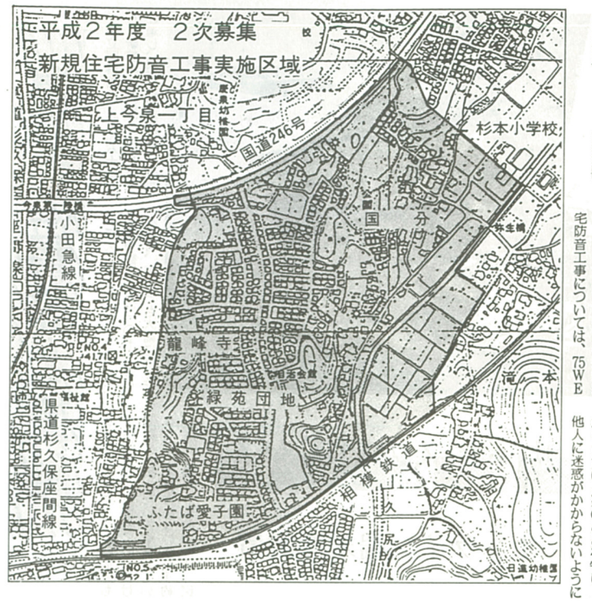
【注】①WECPNLとは、加重等価平均感覚騒音レベルの意味で、航空機の騒音基準。「うるささ指数」とも呼ばれます。

②第II工法は、壁や天井は原則として在来のままで、窓や窓枠、冷暖房設備、換気設備の工事が行われます。なお、二部屋防音工事の冷暖房設備については、一機のみの取りつけとなります。

③設計事務所は、横浜防衛施設局に登録してある業者の中から、申請される方に推薦します。

④今回の募集地区は別図のとおりですが、住宅防音工事実施区域に入っていない地域で、一部の施工業者（工務店など）が巧妙で強引な勧誘を行い、契約や工事内容に関する苦情、相談が関係機関に寄せられています。工事の契約は、工事発注者本人の責任で行うことになっていますので、慎重に対処してください。

※住宅防音工事についての問い合わせは、横浜防衛施設局事業部施設対策第三課（☎045・651・1631）または（財）防衛施設周辺整備協会神奈川支所事業第三部事業第六課（☎64・1811）へ。



犬や猫への苦情が増加

飼い主に求められる愛情と責任

最近、犬の放し飼いや猫への苦情が増えています。犬や猫を飼うときは、次のことを守り、他人に迷惑がかからないようにしてください。

▽動物を飼う上で必要なことは、その習性を理解し、最後まで愛情と責任をもち、他人に迷惑をかけないように飼育することです。

▽犬の放し飼いは昼も夜も絶対にしないでください。放し飼いは条例で禁止されているばかりでなく、夏休み中の子供たちに思わぬ事故を与えることがありますのでご注意ください。

▽犬の過度な鳴き声は、近隣に迷惑をかけます。散歩をさせ、犬にストレスがたまらないよう気をつけてください。

▽犬の散歩にはシャベルと紙袋などを持ち、フンの処理をきちんとしてください。後始末が悪いと、美観を損なうだけでなく、夏期は特に悪臭を放ち、まわりの人が大変迷惑します。

▽猫はつないで飼うわけにはいきませんので、しつけなどにより、迷惑をかけないよう、十分な心配りをしてください。

▽捨て犬・捨て猫は、野良犬・野良猫の原因となりますので、絶対にしないでください。どうしても飼うことができない場合には、県動物保護センター（平塚市土屋側、☎0463・58・3411）か保健所（海老名支所、さつき町39－1、☎32・7911－）の引き取りを利用してください。

ペットと過ごす楽しい一時。マナーも忘れずに…

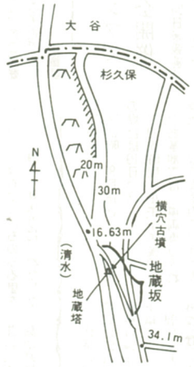
市史を訪ねて　海老名の坂㊿　地蔵坂

この地蔵坂は大谷と杉久保の西北端の境である清水坂から、県道杉久保座間線を南方へ約二百㍍進んだ、左方の急崖を斜め一直線に上る坂をいう。

県道が切り下げられたため上り口は崖めいてカナムグラが密生している。人の通る気配もなく、過去の地図には道幅六尺（一・八㍍）とある全長八十㍍余の坂は今は荒れ果ててしまっている。

かつては「根下」と呼ばれた付近の四戸の人々が、坂上の小字内藤原のごく限られた人たちが小字清水の耕地へ通う農道であった。

この坂のかかるいわゆる「九里の土手」は、奈良時代と推定されている横穴古墳の濃密な分布地で、坂の途中の左手にも横穴墓がぽっかりと顔をのぞかせている。



さて、この地名はその名の示すとおりで、坂を少し上った右側に石の地蔵尊が祭られていたことに起因するのである。その地蔵は、下に落ちる危険性があるという理由で今は下の県道際に移されている。

アジサイの茂る株間の石段を四歩ばかり上ると、総高一・二㍍の地蔵様が赤い帽子とよだれ掛けをつけて南向きに立っておられる。地蔵といえば左手に宝珠、右手に錫杖を持つのが一般的であるが、ここのは数珠を垂らし持つ変わった姿をしておられる。

昭和六十三年にセメントによって補修され、いま銘ははっきり読みとれない部分があるが、塔身の正面に「彡杉久保村増田兵右ヱ門㊀設立芳者也」右側面に「乃至法界、平等利益」、背面に「文政四年（一八二一年）辛巳十二月吉日」と、かつての記録と照合してどうやら読める。

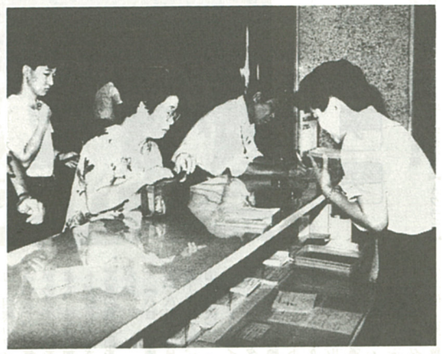
もともとは願文が正面、設立者名が左面、年紀が右面にあったはずであるが、移転の際この向こうに据え付けられたのであろう。

地蔵にはいろいろな民間信仰があるが、ここのは虫歯治癒が対象となっていたという。また地蔵建設の動機は、文政四年に戸塚（横浜市）の人が行き倒れになったのを供養するため、当時この地に住んでいた増田兵右ヱ門さん（前述）と西海某が相談の上、建設地は西海氏が提供、塔は増田氏と、取り決めて建立したものだということである。

県道際に移設された地蔵尊

住民登録は市民の証し

「今すぐに印鑑登録証明書が必要なのですが」などと、問い合わせや証明書の請求がありますが、これらの基本になるのが住民登録です。これは、みなさんからの正確な届け出によって処理されます。そこで今回は、住民登録とそれに関連する申請などの方法について紹介します。なお、証明書などが即日交付できない場合もありますので、手続きはお早めにお願いします。


届け出は比較的混雑しない平日が便利です

まず正確に届け出を　住民票

住民票は、毎老名市の住民であることを届けていただき、その内容を記録した個人単位のもので、これを世帯ごとに編成したのが住民基本台帳です。

この台帳は、住民の居住関係の公証や選挙、国民健康保険、国民年金、義務教育、地方税など、行政全般にわたり基本となるものですから、正確に届け出をお願いします。また、異動や変更が生じた場合は、十四日以内に届け出なければなりません。

◎住民票の写しが必要なとき

印鑑を持参し申請してください。第三者が請求する場合は、使用目的が正当でない場合やプライバシーの侵害、差別的事項につながる場合は交付できません。また、代理人や使者に依頼する場合は、委任の旨を証する書面（下図参照）が必要です（家族や同居者の場合は不要）。

なお、住民票はプライバシー保護のため、戸籍の表示や続柄などを謄写省略して交付していますが、提出先や使用目的（運転免許証やパスポート取得など）によっては、省略している部分が必要な場合があります。この場合は、特別請求（必要な旨の表示）をしてください。

身分事項を公証します　戸籍

戸籍は、出生や婚姻、死亡、親子関係などの身分事項を公証するもので、夫婦と子供単位で一つの戸籍がつくられています。この戸籍のあるところを本籍地といいます。戸籍の記載は届け出により行いますので、身分関係などに変更があるときは、速やかに届け出てください。

◎戸籍の謄本・抄本が必要なとき

市内に本籍がある人は、印鑑を持参して申請してください。本籍が市外の人は、本籍のある市区町村に直接請求を…。

なお、他人の戸籍は、みだりにとれません。もし他人の戸籍謄本・抄本が必要な場合は、申請書に利害関係や使用目的を具体的に書いてください。

本人申請が原則です　印鑑登録

印鑑登録証明書は、不動産の登記、金銭の貸借などに使われるとても大切なものです。市では、事故防止のために手続きを特に慎重に行っていますので、みなさんのご協力をお願いします。

◎印鑑登録の方法

印鑑登録の申請は、本人が窓口で直接行うのが原則です。

ただし、病気などで本人が来られない場合は、委任の旨を証明する書面（右図参照）を添えれば、代理人をたてて申請することができます。市では、申請を受け付けた後、申請が本人の意思に基づくものであるかを確認するため、本人に照会書を郵送し、回答を得た上で登録証を交付します（処理に三日程度かかります）。

なお、本人が市役所に来て、①運転免許証や外国人登録証、パスポートなど、官公署発行の写真をプレスまたはラミネート加工した証明書などを提示したとき②すでに印鑑登録をしている人が登録印を押印し保証したときには、申請したその場で登録証を交付します。

◎印鑑登録ができる人

毎老名市の住民基本台帳に登録してある人が、外国人登録してある人で、十五歳以上の人です。ただし、禁治産者は登録できません。

◎登録できる印鑑

登録できる印鑑は八㌢以上二十五㌢以下の正方形に収まるもので、変形しやすいもの、縁の欠けているもの、大量に生産されているもの、判読が困難なものなどは、登録できない場合があります。

また、登録できる印鑑は一人一本で、同一印の登録はできません。

◎印鑑登録証明書の交付

証明書をとるときは、印鑑登録証（カード）を必ず持参してください。登録印（実印）を持参しても、この登録証がないと証明書は交付できません。印鑑と同様に大切に保管してください。

なお、代理人に頼まれる場合でも、登録印や委任状は必要ありません。

※お問い合わせは、市民課（内412）へ。

委任状の参考様式

委任状

私は［市役所にこられない理由］のために、［代理人の住所］、［番地］、［代理人の氏名］を代理人と定めて、次の権限を委任します。

委任する内容

以上委任事実に相違ありません。

平成　年　月　日

（委任する者（本人）の）住所　㊞

氏名

生年月日

○上の用紙は窓口に用意されておりません。便せんか白紙に委任者本人が必ず書いてください。
○この書面に収入印紙は不要です。

海老名郵便局	国分33－1	33-6787
大谷郵便局	大谷4388－4	31-7931
河原口郵便局	河原口228	32-2290
国分寺台郵便局	国分寺台5－13－7	31-7935
かしわ台駅前郵便局	柏ヶ谷713－3	34-3223
国分郵便局	国分1814	31-7934
有馬郵便局	中河内1369－2	38-4840
大塚本町郵便局	東柏ヶ谷1－2－2	31-7932
中新田郵便局	中新田2302－6	31-7840

戸籍謄本・抄本、住民票の写し　郵便局などでも申請できます

▽受付時間　午前十時～正午と午後一時～四時半（ただし、土曜日は正午まで）▽休業日　国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日、火曜日、第二・第四土曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

20・21日は休み

東柏ケ谷取扱所は、八月二十日（月）、二十一日（火）の両日の業務は休みとなります。これは、二十日は相鉄ローゼンさがみ野店が臨時休業となるためです。二十一日は定休日。

なお、二十二日（水）から平常の業務を行いますので、ご利用ください。

昼休みも受け付け

市民課の窓口は、月曜日から金曜日の昼休み中も当番制で窓口の業務を行っていますのでご利用ください。

なお、当番制のため多少時間がかかることもあります。

また、市役所の窓口は第二・第四土曜日が休みとなっています。それ以外の土曜日は、午前八時半から正午まで受け付けていますので、ご理解とご協力をお願いします。

10月1日は国勢調査

みんなの未来を考えるための国勢調査が、10月1日、全国一斉に行われます。国勢調査は、赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての人が対象となる大規模な調査です。

赤ちゃんからお年寄りまで
みんなが参加します

9月下旬に、みなさんのお宅へ調査員が伺い、調査票へのご記入をお願いします。時間はあまりおかけしませんので、ご協力をお願いします。

お問い合わせは企画課統計係（内265）へ

夏の夜空を見ませんか　教育センターでプラネタリウム

教育センターでは、市図書館4階にあるプラネタリウムを一般公開します。あなたも"夏の夜空"を見に来ませんか。

▽テーマ　「毎老名の夜空と変化する北極星」

▽投影日　8月13日～31日（土曜日の午後と日曜日は除く、25日は休み）

▽会場　市教育センターブラネタリウム室

▽投影時間　1回目－午前10時～11時　2回目－午後1時半～2時半　3回目－午後2時半～3時半

▽定員　各回とも85人先着順

▽入場無料。見学希望者は、当日、投影時間より早目に市教育センター4階ロビーへ。

お問い合わせは同センター（☎33・7771－）へ。

ウォークラリーに参加を

親子で12キロ ふれあい深めて

18日深夜スタート

夏休みの深夜に、親子でウォークラリーに参加してみませんか。ウォークラリーは、スタートとチェックポイントで渡される地図の指示に従って、コースを回るものです。

受け付けは、八月十八日（土）午後十一時～十一時半。十九日（日）午前零時に市役所をスタート。市内約十二キロのコースを回って、再び市役所にゴールします。

対象は、市内在住、在学の小中高校生とその親で、二～五人を一組とします。未成年者だけの参加はできません。

申し込み・問い合わせは、社会教育課（内686）へ。二百組で締め切ります。

※小雨決行。参加される方は、赤鉛筆か赤のボールペン、時計、懐中電灯などを持参してください。天候不順のため開催が危ぶまれる場合には、同課へお問い合わせください。

親子でゴールをめざそう

イベント盛りだくさん

"ハロー相模川ウィーク'90"

より多くのみなさんに相模川に親しんでいただくために"ハロー相模川ウィーク'90"が開催されます。今年は神奈川県の水がめ津久井湖を中心に展開されます。自由参加の楽しいイベントが盛りだくさん。親子そろって夏の思い出をつくってみませんか。

【ハロー相模川フェスティバル】八月十九日（日）午前十一時～午後六時　津久井湖園地（城山町中沢）。

▽ステージイベント　郷土芸能、キャラクターショー、世界の大道芸、相模川ウルトラクイズ、コンサート（デュークエイセス出演）など

▽コーナーイベント　アユのつかみどり、津久井湖体験遊覧船試乗、フアフアランド、ミニSL、特産品の販売など

【ハロー相模川絵画コンクール】八月十九日～二十五日、JR相模線で「絵画列車」を運行。

【ハロー相模川写真展】八月十九日～二十五日、相模川源流から河口までの写真を相鉄線列車内に展示。

【ハロー相模川フォーラム】八月二十五日（土）午後一時半～四時半、津久井町文化福祉会館（津久井町中野）。

▽内容　「湖は生きている」をテーマに、女優の小林千登勢さんの記念講演、高・大学生によるパネルディスカッションなど

▽申し込み　はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、神奈川新聞社企画開発本部（〒231横浜市中区太田町2－23）へ。

※各会場へは、橋本駅北口より神奈川中央交通バス①番三ケ木行きをご利用ください。

「ハロー相模川ウィーク'90」についての問い合わせは、県なぎさ・相模川プラン推進室（☎045・201・1111内655 7）へ。

県央体育センターで2教室

◆テニス教室（初級者）

9月12日～11月28日、毎週水曜日、午後1時～3時、県央地区体育センター　▷対象・定員　初心者・初級者、60人　▷受講料　1740円（保険料含む）　▷申し込み　9月5日（水）午後1時に本人が同センターへ来所して申し込む（定員を超えた場合は抽選）。

◆スポーツクラブリーダー研修（Aコース）　9月21日～11月30日、毎週金曜日、午前10時～午後3時、県央地区体育センター　▷種目　テニス、卓球　▷対象　スポーツクラブ・サークルや各種スポーツ（レクリエーション）団体で、リーダー的立場にある方及びリーダーを目指す方　▷定員　各種目20人　▷申し込み　市教育委員会・団体などの推薦を受け、同センターへ9月11日（火）までに申し込む、受講料は無料。

※以上の問い合わせは、県央地区体育センター（☎47・7211）へ。

スコアブック

平成二年度海老名市夏期バドミントン大会結果（7月1日・市総合体育館・213人参加）

◇男子ダブルス【Aクラス】▽一位　小室和浩・大久保慎一▽二位　鈴木誠・新村成敏▽三位　伊藤隆史・若松勇治

◇同【Bクラス】▽一位　松本薫・高山保春▽二位　山下直宏・横浜宏樹▽三位　東郷五月男・荻野晶敏

◇同【Cクラス】▽一位　小林敏美・北村昭▽二位　小俣直久・川口達也▽三位　丸島健二・小林実

◇女子ダブルス【Aクラス】▽一位　柏木浮子・佐多球美▽二位　鈴木清美・三田文子▽三位　倉内絹子・河合理美子

◇同【Bクラス】▽一位　村田薫・酒井深雪▽二位　田村真理子・小宮芹子▽三位　市川きよえ・伊藤裕子

◇同【Cクラス】▽一位　吉田静江・大谷千恵子▽二位　近藤春子・大西栄子▽三位　佐々木マサ子・佐藤賀幸

◇壮年ダブルス▽一位　古賀通次・今野俊治▽二位　那須孝・小川元衛▽三位　大村孝雄・小森義彦

◇ジュニアダブルス▽一位　森下秋音・伊東宗美▽二位　田代富士子・井上安子▽三位　中島美保・鈴木由美

◇ミックスダブルス【Aクラス】▽一位　大久保慎一・小林明子▽二位　小室和浩・柏木浮子▽三位　鬼島宏・鬼島吉美

同【Bクラス】▽一位　布施川通代・桜庭学▽二位　袋田光浩・君島征子▽三位　金子明・田村真理子

熱戦が繰り広げられた昨年の大会

市総合体育館などを会場に

第6回市民総合球技大会

第六回市民総合球技大会（ソフトボール、バレーボール、バドミントン）が次のとおり開催されます。

◇期日・会場▽ソフトボール　九月二日（日）、九日（日）、予備日・十六日（日）上郷スポーツ広場▽バレーボール　十一月十八日（日）市総合体育館▽バドミントン　十一月二十五日（日）市総合体育館

◇チーム編成　①市内在住または在勤の方で構成した男女別チームとし、学生の参加は認めません。②一チームの人数は、監督、主将を含めて十人以上十五人以内とします。

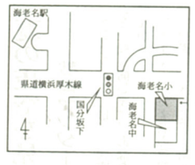
◇申し込み方法　所定の申し込み用紙で八月二十日（月）までに体育課へ。申し込み多数の場合は抽選（申し込み用紙は、体育課、総合体育館窓口に用意してあります）。

◇監督者会議　八月二十八日（火）午後六時半から市役所七階七〇二会議室（組み合わせ抽選もいます）。なお、会議に出席できない チームは棄権とみなします。

※問い合わせは体育課（内607）まで。

海老名タイムトンネル 写真が語る郷土の歴史

懐かしい木造校舎



この写真が撮影された昭和三十二、三年当時、私は海老名中学校の教頭をしていました。

写真に写っている海老名小学校の校舎は今では懐かしい木造二階建てで、右奥に見える建物は講堂です。また、後方一面に広がる水田は海老名耕地で、左手に伸びる道路は、現在の県道横浜厚木線です。ここ三十年ほどの発展には、目を見張る思いです。

当時の子供たちには、素直さがありました。教室の入口のドアに黒板消しを挟むなど、いたずらもしましたが、先生の言うことをよく聞きましたしね…。

（国分の池亀茂さんからお話を伺いました）

鉄筋コンクリートの校舎に建て替えられた現在の海老名小

木造校舎の西方には水田が広がっていた（昭和32、3年ごろ、海老名小所蔵）

このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介します。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は、市史編さん室（内291）へご連絡を。

平成2年度 2期 公民館講座等募集要項

講座	科目	内容	期間	曜日	回数	時間	会場	講師	定員
公民館講座	料理	酒の肴とおせち料理	9/26～12/5	水	8	10:00～13:30	中央公民館	料理研究家 出口数美	32
	母親教室	小さいお子さんをもつお母さんのために 子供の発達と母親のかかわり方、リズム運動 ほか	10/1～10/29	月	5	10:00～11:30		はじめ塾 和田重良 昭和音楽大学講師 小谷田亜矢子 大家弘子 ほか	親子20組
	手芸	手編みでセーターを作ろう	10/1～12/7	金	8	10:00～11:30	柏ヶ谷コミュニティセンター	全国手芸講師協会理事 前野喜美子	30
	税講座	くらしと税金	9/10 9/12 9/14	月水金	3	10:00～12:00	中央公民館	厚木税務署職員	40
	自然科学	植物の不思議	9/12～11/21	水	10	10:00～12:00	中央公民館他	雑草植物研究会 幹事 内田藤吉	40
大学講座 市民教養	文学	大正時代の文学 時代を彩った女性たち	9/16～11/25	日	10	10:00～11:30	中央公民館	文芸評論家 涌田佑	60
教室 青年	技術	万能手作りテスターの製作	9/29～10/27	土	5	14:30～16:00		海老名中学校教諭 白銀一則	20

公民館だより

上郷四七六一二 ☎32・3231

「料理」など7科目開講

2期の講座受講者を募集

市中央公民館では、平成二年度二期の公民館講座、市民教養大学講座、青年教室を上表のとおり開講します。あなたもぜひご応募ください。

▽申し込み方法　往復はがきに希望する科目、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、市中央公民館（上郷四七六八二）へ　▽対象　市内在住・在勤・在学の方　▽申し込み期限　八月二十五日（土）必着　▽費用　受講料は無料ですが、教材費のみ自己負担。料理は材料費として六千円、母親教室はおやつ代として五百円、手芸は用具代として五百円いただきます　▽その他　定員を超えた場合は抽選となり、結果は返信はがきで連絡します。応募は、はがき一枚につき、一科目でお願いします。

▽問い合わせ　市中央公民館（☎32・3231）。

会員を募集

公民館講座OB会「パッチワーク柏ケ谷会」では、会員を募集しています。

▽日時　月二回第二・第四水曜日、午前十時～正午　▽場所　柏ケ谷自治会館　▽会費　二カ月で二千五百円　▽連絡先　酒井（☎32・9901）。

浴衣を手作り

公民館講座の「和裁教室」

市中央公民館では、五月七日から十回にわたって「和裁教室」を開講しました。

この講座には三十四人が参加し、七月九日の最終日では、全員が思い思いの浴衣を完成。着物の着方、帯の結び方、着物のたたみ方の指導を受けたあと、手づくりの浴衣を着て記念撮影しました。紺地、白地それぞれ絵柄も美しく、全員が勢揃いすると、目を見張る様でした。

作品を前に受講者からは、「たいへんわかりやすい指導だったので、宿題が多かったわりにはスムーズに出来上がりました」

「どんどん形になっていくのが楽しみでした」

「やりがいがありました。娘の喜ぶ顔が今から楽しみです」などの声が聞かれ、充実した講座であった様子がうかがえました。中には引き続き男物浴衣、子供用浴衣、ウール着物も覚えたい、と熱意ある方も…。

最近は浴衣の良さが見直されてきていることもあり、タイミングの良い講座となりました。

どんどん形になっていくのが楽しみ、と好評

今月のプロフィール

ライフワークは国分寺

史実・史跡研究に力を注ぐ 海老名史跡探勝会会長

玉手　英四郎さん

「史跡探勝会の会員と年六回、史跡巡りに行くのが何よりの楽しみ。史跡を歩いて回ることが、健康の増進にも役立っているようです」

と話すのは、海老名史跡探勝会会長の玉手英四郎さん（70歳）。

玉手さんは、仕事柄単身赴任が多く、四十五年前、初めて着任したのが史跡の多い関西方面だった。このため仕事の合い間に、神社や仏閣を訪れる機会が増え、自然と史跡の魅力に引き込まれていった。当時はゆとりもなく、ただ見て回るだけだったが、転勤する先々に偶然にも国分寺があったので、国分寺に対し強い興味を持つようになったそうだ。

昭和四十二年に、横浜から市内に転入した玉手さん。自宅の近くを散歩していた時に、偶然、史跡探勝会の会員に出会い、その場で入会した。自分の時間を作るようになった五年ほど前から、「研究活動も本格化。国分寺の研究に力を注いでいる。

「奈良時代、全国に六十六カ所建立された国分寺を一冊の本にして出版するのが夢。近いうちになんとか実現したいですね」

今年の三月には、海老名青年会議所が主催した「相模国分寺を考える市民勉強会・夢みて七重の塔」の講師として、相模国分寺に対する熱い思いを語った玉手さん。

「海老名には、国分寺のほかに、鎌倉時代の海老名氏の話など、たくさんの史実や史跡があります。ぜひ海老名の歴史に興味を持っていただきたいですね」

玉手さんは現在、史跡探勝会の会長として、多忙な毎日を送るほか、県が企画した「さがみ・ウォッチング」の委員も引き受け、県央地区の文化財や自然に触れるための、魅力あるガイドマップづくりに取り組んでいる。

国分寺台在住、五人家族

POP広告講習会

県立婦人総合センター

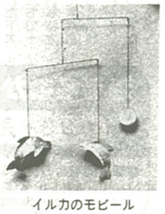
県立婦人総合センターでは、POP広告の作成、チラシ広告の基礎技術を学ぶ「POP広告講習会」を開催します。

▽日時　九月十八日（火）～十一日三十日（金）の二十一日間、午前十時～午後三時▽会場　横浜高等職業技術校▽対象　就職を希望する女性二十人▽申し込み　往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名と簡単な志望動機を記入し、婦人総合センター婦人労働部（〒251　藤沢市江の島1－11－1）へ▽締め切り　八月三十日▽受講料　無料。ただし教材費実費負担▽問い合わせ　同センター（☎0466・27・2111内342）。

作る楽しさを体験！

8月27日に夏の児童館まつり

▷とき　8月27日（月）Aコース＝午前9時～11時半、Bコース＝午後1時～3時半▷ところ　市中央公民館▷対象　市内の小学生、A・Bコースとも各80人▷作るもの　イルカのモビール▷用意するもの　木工用ボンド、はさみ、のうち、鉛筆▷申込　社会教育課（内683）　定員になり次第締め切ります。



イルカのモビール

椎名　恵 コンサート

TVドラマ「ヤヌスの鏡」主題歌などのヒット曲でおなじみ、椎名恵を迎えてのコンサートです

▷日時　10月25日（木）午後6時半開演▷会場　市文化会館（☎32・3231）▷入場料　全席2500円、全席指定▷前売開始　8月26日（日）午前9時から、電話予約は午後1時から▷主催　海老名市・市文化会館事業協会

松竹名作劇場「花いくさ」

―向田邦子原作「阿修羅のごとく」より―

▷出演　有馬稲子、小坂一也、波乃久里子、土屋嘉男ほか

▷日時　9月24日（月・振替休日）午後2時開演▷会場　市文化会館（☎32・3231）▷入場料　A席3500円、B席3200円、全席指定、大好評前売中▷主催　海老名市・市文化会館事業協会

有馬　稲子

波乃久里子

小坂　一也

フォトピックス

今年も〝おいしい〟

マスクメロン品評会

マスクメロンの形状、味などを審査し、今年の出来具合を占う「マスクメロン持寄品評会」が七月六日、海老名市農協南支所で行われた。

湘南温室組合（根岸茂雄組合長）主催の同品評会には、海老名市を含む三市一町から三十点のマスクメロンが出品されたが、今年は天候にも恵まれたため、味も例年並みに「おいしい」とのこと。

審査の結果、市内からは牛村功さん（中野、39歳）が県知事賞など計十一の賞を受賞した。

甘くておいしいメロンが勢揃い

力作49点を出品

日本画OB会が作品展

七月十七日から六日間、二チイ海老名店文化ホールで、老人趣味の教室、日本画OB会主催の「日本画・水墨画展」が行われた。

会場には、同会（大貫明会長、23人）会員による日本画や水墨画など四十九点が展示された。

作品展は今年で五回目、静物・人物・風景画などが多く、色あざやかな中にも風格のある作品が多かった。

来場者の中には、「絵を見て心が和み落ち着いた」という人もいて連日好評だった。

郷土の一面見た

公民館講座で施設見学

ふるさと海老名を多方面から知る公民館講座「郷土を学ぶ」が七月十一日に行われ、受講者三十七人が市内の工場や高座清掃施設組合を見学した。

施設組合で説明をうける参加者

会場には連日多くの来場者が…

厚木ナイロン（株）、コカコーラ（株）、雪印乳業（株）での見事な流れ作業や施設組合のゴミの量にびっくりした参加者からは、

「ふだんは縁のない施設を見ると〝躍進しつつある海老名〟の一面を感じます」の声も。

最優秀に第8分団

柏ケ谷中で操法大会

七月十五日、柏ケ谷中学校校庭で市消防操法大会が開かれ、市内十五分団、計二百二十三人が参加した。

この大会は、消防団員の日頃の訓練の成果を競い合い、技術の向上を図る目的で毎年行われている。

会場では指揮者以下五人の分団員が重さ六㌔のホースを約六十㍍延長し、放水で標的を倒し収納するまでの操作時間を競い合ったが、小雨の中、本番さながらの操法に、惜しみない拍手が送られた。

結果は、最優秀賞に第八分団（柏ケ谷・東柏ケ谷地区）が輝き、優秀賞に第一分団（国分・望地）、第九分団（中河内）、第十五分団（本郷）が選ばれた。

訓練の成果を披露

みなさんの声

投稿はお気軽に広報広聴課へ

危ないガスボンベ

夏休みが近づき、キャンプなどでたき火をする機会が多くなると思いますが、捨てられたボンベをたき火にくべ、思いもよらぬ災難が起こることもあります。

私どもの三男が、今年の春休みに相模川へキャンプに行ったときのことです。楽しかったキャンプが終わった後にたき火をしましたが、誰かが使用済みのボンベをたき火にくべたため爆発を起こしました。

そのとき、三男はたき火をはさんでカメラのシャッターを切ろうとしていましたので、顔全面と手にやけどをしてしまいました。幸い、やけどは軽かったのでひきつれにもならず、回復しつつありますが、完全になおるまでには一年かかるそうです。また日焼けも厳禁なので、本人はたいへん苦労しております。

こういう恐ろしいことが起きないよう、ボンベなどの爆発物は取り扱いに十分注意したいものです。

大谷在住　匿名

海老名むかしばなし

第237話　大谷村烏山藩領の農民生活

江戸時代後期の大谷村は、下野国烏山藩領（下大谷村）、旗本の新井領（注・上大谷村）、同増田領（中大谷村）に分かれていた。天保のころ（一八三〇～四四年）の戸数は、それぞれ五十軒、二十四軒、十九軒であった。

享保十三年（一七二八年）、下野国（栃木県）烏山藩主大久保常春は、九十二カ条からなる「御条目」を相模国領内の村々にも布達した。下大谷村の農民の生活も、当然これによって規制されたわけである。

その主な内容をみると、耕作、年貢関係では、

「耕作に精を入れ、昼夜油断なく勤め、年貢の上納と妻子を養うことだけを考えること」

「田畑に草をはやしておく者がいたら詮議の上、その田畑を取り上げる。また、その者の年貢が不足したら、隣接する田畑の持ち主に弁納させるので注意をすること」

「病気、またはよんどころのない支障で耕作が遅れた場合は、五人組の者が助けること云々」

「年貢米には籾くだけ、しいな青米がないように吟味をし、縄、俵にも念を入れること」などがある。

日常生活については、

「衣服は、名主・組頭は絹、紬、木綿を着ること。平百姓は布（麻）、木綿の他は用いてはならない」

「雑穀を食べ、米や酒を費やしてはならない。もし、よんどころのないことで振舞いをする場合は、一汁二菜（主食以外に汁とおかず二品）に限ること」

「村中、火の用心は昼夜ともに念を入れること。出火の節は村役人は御蔵場（村にあった領主の蔵）へ駆け付け、その他の村人は残らず火元へ駆け付けて火を消すこと云々」

「夜番の者は、夜中油断なく村中を廻り、火の用心をすること。名主、組頭、五人組は折々廻ること」

「博奕、賭母子、一切賭の諸勝負、三笠博奕等は絶対にしてはならない」

「一夜泊まりは格別、二夜三夜と他所へ泊まる場合は名主、組頭、五人組の者へ断ること云々」

などがある。救恤関係では、

「親類、縁者のいない老人や病人が村にいたら世話をして憐れみを加えること」

などがある。

この「御条目」が出されてから四十三年後の明治八年に、早魃の被害を受けた下大谷村の村人は、自分たちで十六カ条からなる「村内私法之事」を定めて生活の引き締めを図った。これをみると当時の村人の生活習慣がわかる。

その内容で倹約については

「婚礼は簡単に行う。ひろめ酒も簡単にする。部屋見、家見入酒は一軒につき十二文宛集めて、村人の代表が酒手として婚家へ持参する」

「葬礼も簡単に行う。葬礼場所見舞いはこれまでの通りにし、忌中見舞い、斉振舞いは親類、五人組、近所の者だけにする」

「破魔弓、羽子板、雛、菖蒲刀の贈答は男女とも三歳までとし、質素な物にする」

「年始や歳暮の贈答も簡単にする」

などがある。年間の休日の限定については、

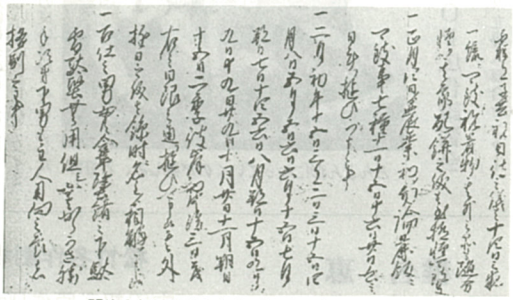
「正月は四日から農業を始め、粗食にする。七種、十一日（蔵開き）、十五日、十六日（小正月）、二十日（恵比須講）は仕事を休む」

「二月の初午、十五日、三月二日（奉公人の年季明け）、三日（上巳の節句）、十五日、四月八日（灌仏会）、五月五日（端午の節句）、六日（苗ふり正月）、六月十五日、七月一日、七日（七夕の節句）、十四日、十五日、十六日（盆）、八月一日（八朔）、十五日、九月九日（重陽の節句）、十九日、二十九日、十九日、二十九日を三九日といい、収穫を祝う日である）、十月二十日（恵比須講）、十一月一日、十五日（子供祝い）二季の彼岸の初・中・後の各三日（年間の合計三十六日）を休業とし、他の臨時の休業日は名主から触れを出す」

という取り決めであった。

注　新井領…正徳元年（一七一一年）新井白石の領地が加増されたときに大谷村の一部が新井領となり、以後幕末までその子孫が受け継いだ。

（細川　光成）



明治8年に定められた「村内私法之事」の一部

郷土の昔話を知りたいあなたに…
「海老名むかしばなし」
第1～5集有料配布中
1～3集は5百円、4・5集は6百円
広報広聴課へ

海老名むかしむかし
☎33・3838
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
7月23日～8月5日　第68話　尻尾で油を盗んだ狐
8月6日～8月20日　第69話　笠松と烏比丘尼